

テーマ 「地域の未来を創っていく生徒の育成(スクールミッションより)」をめざした ESD の取り組み
 北海道上士幌高等学校 校長 渡邊 邦夫
 担当 山形 剛

1 趣旨 本校の ESD の特徴

本校の特徴としては以下の 2 点が上げられる。すなわち、2019 年度より町内の保育所・小学校・中学校・高校が連携する「かみしほろ学園」の活動が本格化し、年 1 回の大会や集録を通してお互いの活動が「見える化」した。また時を同じくして学校設定科目「上士幌学」および「ライフデザイン」を中心に役場や地域企業、地域おこし協力隊の全面的な協力を得て、見学や外部講師を積極的に活用して学習を進めるのみならず、地域や小中学校に向けた学習成果の報告会や販売会を実施できたことである。

2 活動・全体計画

全体計画は 17 の goal (「かみしほろ学園」に提出したもの) に則した以下の表 (図①) に基づくが、そのほとんどは 3 年生の選択科目「上士幌学」(今年度 12 名が履修)と「ライフデザイン」(同 15 名が履修)の授業内容と 2 年生の見学旅行とその前後に取り組む平和学習が柱となっている。

図 1 「かみしほろ学園」 ESD カレンダー (Target も記載している)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
上士幌高等学校	17Goals																	
	1年生		振興会の協力による給食の提供 (Tar2.1)	薬物乱用防止講話・生と性の講話の実施 (Tar3.5,3.7)					「総合的な探究の時間」における進路学習 (Tar8.5)									
	2年生																	平和学習の取り組み(見学旅行)
	3年生							バイオマス発電の学習(上士幌学)	上士幌学(観光政策)の学習(Tar8.9)	ライフデザイン(メニュー開発)の学習(Tar8.9)	上士幌学(アイヌ民族)の学習(Tar10.3)	上士幌学(移住)の学習(Tar11.3)	上士幌学(SDG とは)の学習(Tar12.8)	上士幌学(計数)の学習		上士幌学(保健生活)の学習(Tar15.5)		

活動の概要

<上士幌学>

- ◎ 先住民族アイヌと開拓者、探検家について…松浦武四郎・依田勉三 講義中心
- ◎ 町内の 6 次産業について…十勝養蜂園(図 2)・しんむら牧場 経営者との連携
- ◎ 移住者と語る…都市部から移住してきた方々との質疑応答
- ◎ 地域の農業について…作付け期と収穫期の現地調査 改良普及員と生産者と連携
- ◎ 地域の林業について…植樹体験を含む 農林課、総合振興局との連携
- ◎ 地質の特徴としての十勝石について…現地採集を含む 学芸員との連携
- ◎ 外国人労働者と語る…町内企業で働くベトナム人労働者とリモートで対話 など

<ライフデザイン>

- ◎ 「上高マッチング 地域のヒト・モノ・コトを繋げる」をテーマに、今年度は道の駅で営業しているレストランやブラッセリーの指導を受けながら生徒が新しいメニューやパンを考案し、試作を重ねつつ POP 制作にも取り組んで製品化までたどり着き、期間限定の即売会(図 3)を開催することまでいくことができた。

<見学旅行の平和学習>

- ◎ 「総合的な探究の時間」で配当し、「はだしのゲン」や「NHK スペシャル」の視聴と合わせて核兵器禁止条約の成立と批准の状況も学んだ上で、広島での資料館見学と被爆者講話(図 4)も実施し、現代社会で平和を維持するとはどういうことなのかについて考えさせた。

図 2



図 3



図 4



3 活動事例

「上高マッチング 地域のヒト・モノ・コトを繋げる」(ライフデザイン)の授業展開

- | | |
|---|--|
| 授業① オリエンテーション | 授業⑪ 商品試食、商品写真撮影 |
| 授業② 道の駅かみしほろを知る(4店舗の関係者から商品説明など) | 授業⑫ 商品PR動画の作成(町教委 ICT 推進教諭 深川さん ドローン撮影は高橋さん) |
| 授業③ コラボ店舗選び、班分け | 授業⑬ 活動中間発表 |
| 授業④ 新商品アイデア考案(店舗関係者来校) | 授業⑭ 販売会に向けて、マナー講座 |
| 授業⑤ 新商品レシピ考案(店舗関係者来校)生徒考案レシピについて店舗からアドバイス | 授業⑮ ポスターチラシ上土幌町内企業へ配布(51カ所) |
| 授業⑥ 試作レシピ完成、店舗へ提出 | 授業⑯ コラボ商品販売会 |
| 授業⑦ 試作実習準備 | 授業⑰ まとめ、反省会 |
| 授業⑧ 試作実習(店舗関係者来校)、実習を通してアドバイスを受ける | 授業⑱ 企画関係者への活動報告発表会 |
| 授業⑨ 商品レシピ完成、コラボ店舗へ提出 | 授業⑲ 町民向け活動報告発表会 |
| 授業⑩ POP、ポスター作成 | 授業⑳ 町内小、中学校にて活動報告発表会(以上「学びの重点化」研究紀要より抜粋) |

4 成果と課題

- ・ ハチミツを取るのにすごく人の手が加わっているということがわかり、機械ではなく手作業だからすごく大変そうだった。とれたてのハチミツは普段食べるハチミツとは味が違った。

(上土幌学 十勝養蜂園の振り返り)

- ・ 色々なところに行ったり体験をして上土幌のことが分かってきました。話も聞けて行ってきたところのことも理解が深まった。

(上土幌学 活動報告会の振り返り)

などのように、時々のテーマに対してはその都度意欲的に学んでいることが伺えるが、そこから一步深めた考察にまでは至ることができていない。他方

- ・ 動画撮影・作成は、どの班もこだわりを持ち授業以外の時間も使って取り組んだ。

(「ライフデザイン」の研究紀要から)

のように、具体的な表現活動には時間と労力を惜しまず達成に向けて動いた様子も垣間見えた。

総じて次年度においては、グループごとの意見交換に取り組み、学んだ意味についての考察を深め、さらにそれをどう伝えるか、という発表形態にも時間を配当して、卒業後に自分が身を置く地域社会をどう捉えるかという「見方」を身につけることを課題としていきたい。